

※にいじまむら 議会だより

第 84 号
平成 30 年 5 月



平成 30 年第 1 回定例会 (3 月)

会 期 日 程

第 1 回定例会は平成 30 年 3 月 6 日から 26 日まで開催され、新年度予算、各種補正予算、新規条例・条例改正などを審議しました。

も く じ

表紙は語る	2
一般質問から	2
議会にいきかう言葉	3
ほっとプレイス	7
議員の月間リレー日記	7
議長の目ランド	9
特集 新島村まち・ひと・しごと創生	10
議長の四季報	16
編集後記	16

Q & A 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

問 新島村の再生の鍵となる産業の育成は？
村は産業に対しどういった方向性・



山本均 議員

答 人口が減少している中、産業全般にわたり後継者不足が大きな問題となり、島外からの人材受け入れや定住化住宅の整備も検討していかねばならない。今後、各団体と協議して取り組んで

展望を持ち、新年度以降の各事業が未来に向けての着実な進歩となり得るのか、わかりやすく示してほしい。

表紙は語る

3月定例会の会間の土曜日、最終日となる式根島みに博物館、みに資料館を見学した。二月の土日を中心に7日間解放され、毎回40、50人が訪れる盛況ぶりである。会場の足付船客待合所は一昨年11月の改修式典以来の利用例と思われる。

主催は式根島青年団 しきね想島会（そうとうかい）で、自発的に海岸清掃や地域での賑わい

イベントを行っている。会場には、式根島の元教員による1万点以上の生物標本や、式根島の自然文化の資料や、草木染めの展示、体験ブースや流木アートのベンチなども設置されていた。

箱物（ハード）の整備は、このように血の通った活動（ソフト）と合わさってこそ、島おこしになると感じた。

（取材・木村諭史）



ゴールデンウィーク初日の新島港の下船風景。

議会にいきかう言葉

実際の議長の選出は、通常、議員選挙後の初めての全員が顔をそろえた会合（まだ議員の全員協賛は発足していない）で、まずは話し合い。

和やかな雰囲気の中、自薦他薦が交錯し、一人にまとまれば万々歳。が、百家争鳴となると同志を募って水面下の交渉へと舵を切る。直接本人が折衝し、ある

いは応援議員が動いたり。そして本会議当日、年長議員が議事進行役を務め、どちらの場合も選挙の形を採り、投票となる。知る人ぞ知るであったその結果は……。

政治劇は恋愛ドラマに擬せられ、極めて人間臭い。外野席では議員相互の関係や議会における力のバランスに想いを寄せることになる。

いきたい。

特養ホームの運営はどうなるのか？

問

特養ホームの今はどうなっているのかお訊きする。またホームの運営の方法を見直す用意はあるのか？

答

3月1日現在の就業状態は、11月時点と比べて契約職員1名ずつの入退職があり、総職員数74名（常勤換算63名）で変更はない。新住宅は入職内定者が3名いて4月以降順次、入居を予定している。

今後は現状規模維持のため法人の運営努力と現実的な運営や事業転換等への検討を行っていきたい。



この日はお待ちかねの寿司の昼食。

問 総合戦略と事業化

この戦略の目的は、いかに人口を増や

していけるかで、基本的な方針は「雇用の創生」「新しい人の流れづく

り」「結婚・出産・子育てへの支援」「安心・安全な暮らしの確保」から成っている。これらを見据えた具体的な事業計画があるのかお訊きする。

答

村の五力年の実施計画は毎年見直しを行い策定している。この計画から総合戦略に関する事業をピックアップして再構成する考えはない。が、総合戦略に基づき実施計画に落とし込んだ事業は、示すことができるので今しばらく時間をいただきたい。

式根島の透析治療の対応は？

問

昨年11月に式根島の住民から人工透析の治療の陳情があった。村としては現実をふまえたうえでどのように対応するのかお訊きする。



本村診療所内の透析治療室。6床ある。

【答】 仮に式根島で透析治療を実施するとしたら機器導入に係る経費は、総額（3人分程度）で3千万〜4千万円となる。一番の問題は医療人材の確保で、現在の体制に加えさらに医師1名、透析技師1名、看護師1名を配置する必要がある。その人件費は

3千万円程度かかるが、何より人材の確保が難しい。

式根島の住民が新島に通う、または新島に住まざるを得ない状況は、大変心苦しく思っているが、今後村としてどのようなサポートができるか考え、よりよい医療の提供を行っていきたい。

前田 卓秀 議員



新島スポーツ広場について

【問】 スポーツ広場のビーチバレー場が



つわもの共が夢のあと。寂りょう感が漂う。

国体以降使われていないが、今後どのように有効活用していくのか？

なっている。

【答】 平成25年に東京国体で整備し、使用

後は清掃したうえで、住民や観光客に開放して広場的な利用ができないか検討してらへ。

後はそのままの状態と



B堤漁港内に係留されている定置網漁に使う漁船。

定置網漁について

問

昨年からの定置網漁がなくなり、飲食店や加工業者などは「赤イカや魚が安く手に入らない」と困っている。今

後、定置網漁は復活する

答

予定はあるのか？
平成28年末から定置網事業は、漁協の総会を経たうえで事業を撤退している。理由に

については様々な要因があると思うが、自然の影響や多額の経費がかかることや漁獲量も減少したためなどと伺っている。復活についてはいじま漁協で検討され判断なされるべきことであると認識している。

大沼 弘一 議員



島外病院を受診する際の交通費等の助成制度について

問

助成制度について12月議会で質問させて頂き、「各島の町村長と協議し東京都

に要望して行きたい。

村独自の負担軽減はその結果を踏まえて検討して行きたい」と大変心強い回答を頂きました。3カ月が経過し協議、要望活動の結果は？村独自の負担軽減策は新年度予算に計上されているのか？

答

助成については各町村において差があり、今後も意見交換が必要です。東京都への要望は現在行っています。村独自の負担軽減費用も予算措置としておりません。

問

早急に検討し年度中の実施は？
実施出来るように努力する。

答

新年度施政方針について

問

施政方針の中で産業振興について質問

問致します。施政方針

では「引き続き」「継続して」との言葉が多く使われており、新たに実施する事業が少なく感じております。村長の考える各産業の活性化された姿とは？また島の産業の未来にどのような夢をいだいているのか伺う

答

産業の活性化や振興を進めるためには、現状を把握して振興策を練らなければと考えている。このため産業団体に外向き、意見・要望を聞いて政策に生かすよう努めている。

問

村長自身が明確な産業振興のビジョンを持ち、それを職員と共有することが大切と考えるがいかがか。

答

目標もある程度出すことは必要では

ないかという議員の指摘は理解した。

新島村総合戦略における人口減少の歯止めは

問 新島村総合戦略定当時の石破大臣は「努力した地方とそうでない地方と格差が出るのは当たり前だ」と警鐘し、地方の努力を促しております。残念ながらここ数年、当村の人口は急激に減少しております。村長は村のすべての事業が総合戦略だと語っておりますが、それならすべての事業でPDCAサイクル（計画・実施・検証・改善）は機能しているのか伺います。また今年度の重点施策は？

答 総合戦略の中に毎年必要な見直しを行うことが明記されている。本年は新島村島アプリ開発事業について検証

を行った。今後は平成31年度が計画終了期間となるので総合戦略に計上されている事業の検証見直しを行うつもりです。

※重点施策についての回答は多岐にわたっており紙面の都合上割愛する。

木村 諭史 議員



住民参加型会議の活用について

問 村長は車座形式の意見交換会を重要視しているが、さらなる大人数にも対応できるように、いくつかのテーブル（島）に分かれて意見

を出し合うワークショップ形式の会議をより積極的に取り入れるべきではないのか？



村民ワークショップの一例。

意見が言えるような研修や会議の運営に今後も務めていく。

答 村民の皆様がより積極的に参加し、

会議推進役の人材育成について

新しい時代に求められる多様な人材を育成してゆくためには、このような能力を身につける研修も必要。職員研修所の研修メニューの中にファシリテーション研修もあり、講師を呼ぶことも含めて今後検討します。

問 住民参加型会議にはファシリテーター（会議の推進役）が欠かせない。ルールを丁寧に説明し、雰囲気や和らげ、参加者全員にバランスよく発言を促します。結論を誘導するのはなく、問題の構造を紙で整理したりします。課を超えた応援ができるように年間3名など目標を定めて人材養成を検討してはいかがか？講師を呼び大人数で研修を受けるのもどうか？

新しい時代に求められる多様な人材を育成してゆくためには、このような能力を身につける研修も必要。職員研修所の研修メニューの中にファシリテーション研修もあり、講師を呼ぶことも含めて今後検討します。

ほっと
プレイス

コーガ石のある風景 ②



チヨードさん所有の右は、大正時代に建てられた椿油の搾油所。左は昭和初年のもので、日曜雑貨、たばこ等を商っていた。意匠を凝らした昭和モダンの雰囲気を与えている。共に現在、使われていない。

2月 議員月間リレー日記

●前田 卓秀

1日(木)～7日(水)

朝、間々下や羽伏浦の

波をチェックして波情報

をSNSに投稿する。そ

の他に役場や観光協会な

どの新島に関連のある情

報も共有して投稿する。

あとは雑用をすませ午後

の美容室の仕事に備え

る。

美容室ではお客様から

村への要望などもあるの

でその都度対処するよう

になっている。

このような一週間。

●山本 均

8日(木)

隣の家で大工さんが屋

根の張り替えをしている

のでうちの廃屋の作業場

の屋根を見てもらう。全

面的にやり直す必要あり

と言われ、ガックリ。

午後から活動紙の原稿

書き。

9日(金)

午前中は活動紙の原稿

書き。

午後からは買物の帰り

隣と高齢者介護の話で盛

り上がる。

夕方、知り合いが東京

の病院から帰って来たとい

うので見舞う。

10日(土)

午前中は活動紙の原稿

書き。

午後は読書「キリスト

はエボリで止まった」。

11日(日)

午前中は読書。昨日の

続き。

午後からは活動紙の原

稿書き。

12日(月)

午前中は定期購読の週

刊東洋経済が届いたので

これを読む。

午後からは活動紙の原

稿書き。夜も8時から続

きを書く。

10時就寝

13日(火)

きょうは午前、午後

共、活動紙の原稿書き。

先が見えてきたので乗っ

てくる。夜も一時間ほど

やる。

14日(火)

午前中は活動紙の原稿

書き。

午後からは家事、雑

用。

夜は2時間ほど活動紙

のパソコン打ち。

10時就寝。



●青沼 喜八

15日(木)

西ン風が続ぎ、冷たい外氣と闘って畑に向かう。

水泳指導者を止めているのに昔を思い出し、冬季オリンピックの成績に一喜一憂し、映像に釘付け。

16日(金)

新年度の国家予算が固まりつつある中、村の予算案は出来上がったのかな？

自主財源一割の村にとつて国、都の補助金は頼みの綱。その歴史をヒモとくべく村の歴代村長(明治く平成)の功績をまとめた本を読む。

17日(土)

やはり予想通り金メダル第1号は羽生選手がとつた。自分のコーチ観は狂っておらず一安心。水泳もスケートもその過

程の中で判断されるから努力した選手は報われる。



18日(日)

連続して金メダルが取れた小平選手のスケートに対する情熱に翻弄された一日が終わつた。

19日(月)

今日一日、オリンピックのテレビ観戦からはなれて畑の整備に精を出す。

20日(火)

足の骨折力所が痛む。畑のやり過ぎか、年のせいか、それとも単なる気のせい。一日中安静にしていた。

21日(水)

朝から一日役人場所の

畑仕事。農業の大変さを身をもって感じながら過ごす。海と違つて種から実になるまで育成しなければならぬ。しかも高齢者の多い当村では農業をどう進めるべきか、改めて考えさせられた。



●森田 一

22日(木)

風邪をひき咳が止まらず休んでいたが、妙蓮寺の火災共済の件で電話をもらい、明日会うことにした。

23日(金)

今日はJA共済の担当者来寺し、火災共済の説明をした。

私の認識不足からJA

共済と農業共済を混同し

ていたので大変失礼した。

24日(土)

体調が回復したので朝から事務所自身意識改革をめざし、3月1日から始まる4日間のライブセミナーに参加のための準備にかかった。

25日(日)

今日は久しぶりに淡井浜まで歩いてきた。気持ちよかった。



26日(月)

23日に約束してあった農業共済の担当者が妙蓮寺に来て、総代二人で詳しい説明を聞き、ほぼ了解した。

27日(火)

セミナー参加のため11時55分発のさるびあ丸に

乗船。大島乗り換えで竹芝17時10分着。娘の家に泊まる。



28日(水)

明日から始まるライブセミナーに参加のために東京駅13時発の鴨川行に乗り、14時55分鴨川着。15時20分に会場の鴨川グランドホテル着。

予想より早く着いたので19時からのプレイベントに参加してみた。事前の資料で承知していたつもりだが、最終日まで体がもつか、少し不安になった。





議長の目^{アイ}ランド



地球温暖化の影響で漁業環境が悪化し、我が国の漁業生産量はピーク時の半分近くにまで減少し、特に地先漁業においては海水温の上昇で磯焼け等が発生し、生産量が大きく落ち込み漁業従事者の高齢化と相まって、多くの漁村が元気を失くしていると言われている。

この新島村も、かつて隆盛を極めたタカベの追込漁や棒受け網等の集団漁業が時代の本流から外れ、漁業の水揚げ量が大きく落ち込み、漁業従事者の減少に拍車をかけているような気がする。若者にとって漁業は自然を相手の厳しい職業、ここ何年か後継者が生まれていないし、当然港の活力がなくなってきている。村も議会も「何とかしなければ、何とかしなければ」と言っているうちに現状打破が出来ずに、衰退の一途をたどっている。

第1次産業である漁業や農業が衰退すれば、新島の主産業の一つである観光業は勿論ほかの全ての産業に影響を及ぼす。

3月16日に平成30年度の新島村予算が議会で可決されました。残念ながら、本年度も予算の中に漁協や行政が目指す、漁業振興策が見えてこない。

青沼村長の施政方針を見ると産業振興に並々ならぬ決意が感じられるが、今後、新島村の漁業をどのように振興していくのか漁業者と行政でのプランニングが必要では？いずれにしても早急に対策をしないと、魚価の低迷、燃油の高騰、漁業者の高齢化等漁師を取り巻く環境は毎年、悪くなる一方である。

漁協を中心に歳を重ねてもできる漁法の工夫や観光産業とのコラボレーション等若者に魅力ある漁業をみんなで考え、もう一度漁業を活性化しようではありませんか。議会も全力で応援してまいります。頑張ってください。



若郷漁港内の午後。ほとんど出漁中。

「にいしま漁業協同組合平成30年通常総会」の来賓あいさつからの抜粋
(議長 前田 邦弘)

特集

から 3 年。今、新島村はどうなっている？
を議会が検証しました！

～『地方創生』のポイントを紹介します～

地方創生とはどんなもの？

地方創生（ちほうそうせい）とは、平成26年に閣議決定された国の長期ビジョン『まち・ひと・しごと創生総合戦略』を踏まえた一連の政策を指します。東京をはじめとする大都市に人や仕事が集まるのではなく、地方の人口を増やすことで国全体の活力を上げていくことを目的としています。

特徴①
人口減少社会という現実をまっすぐに見つめる

2060年までの人口の推移と、人口減に歯止めをかけるためのプランを含めた『人口ビジョン』を自治体ごとに作成。まち・ひと・しごと創生総合計画を策定し、具体的な事業を展開しています。

特徴④
具体的な数値で達成度を「見える化」

メディアなど多彩な分野からメンバーを集め、地域に合わせた計画を作成。議員もメンバーに加わっています。

新島村でも27年に独自の地方創生計画『まち・ひと・しごと創生 新島村総合戦略』が策定され、一部の事業がスタートしました。

特徴②
ひんぱんにチェックして軌道修正

従来の政策にありがちな「計画しっぱなし」ではなく、計画する→実行する→見直す→より良くするというサイクルをくりかえすことで、目標を達成できるような軌道修正します。

特徴⑤
これまでになく新しい切り口

地方創生では「人口減少に歯止めをかける」「地方にしごとと人の流れを作る」といった国の方針に沿って計画を作成。従来の縦割り行政ではなく、これまでになく新しい切り口で実施します。



※くわしい内容は新島村ホームページでも確認できます。

<http://www.nijima.com>

組織・業務案内・企画財政課
新島村まち・ひと・しごと創生

計画にあたっては産業、行政、学校、金融、労働者

特徴③
多彩な人材が参加

計画にあたっては産業、行政、学校、金融、労働者

質問項目

主な回答

晩婚化・未婚化をおさえるには？

- ・若者の就業支援(44.1%)
- ・子育てや教育にかかる経済的負担の低減(42.1%)
- ・出会いの場の提供等の結婚支援(41.9%)
- ・仕事と子育ての両立支援(26.3%)

人口減少に歯止めをかけ、地域を活性化するには？

- ・働く場の確保（公共事業や企業の誘致）(54.1%)
- ・Uターンや田舎（いなか）暮らしを希望する人に情報発信やサポート体制の充実(33.4%)
- ・移住者等への空き家、空き地の有効活用(33.4%)
- ・産業振興（観光、水産業、農業、新エネルギー等の振興）(25.4%)
- ・未婚化・晩婚化対策（お見合いパーティや出会いの場を増やす）(20.3%)

理想的な子育て環境を実現するには？

- ・医療機関（小児科、産婦人科）の充実(51.5%)
- ・幼稚園や学校教育費、医療費など子育て費用の負担軽減(48.6%)
- ・子育てをしながら女性も働ける職場の充実(35.2%)
- ・延長保育や休日保育などの乳幼児保育サービスの充実(29.6%)

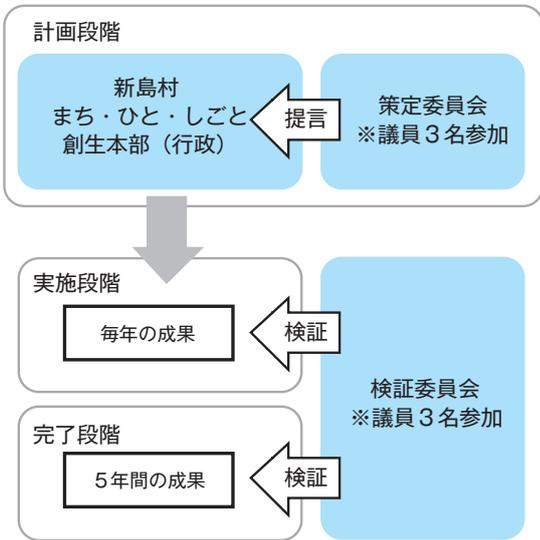
村民はどんなことをほっすい？

村の将来を考える村民アンケート調査より抜粋。議員による質問は主要な住民回答を網羅していました。

人口減に歯止めをかけ、豊かな暮らしを実現する 5 年計画スタート 「新島村まち・ひと・しごと創生」

議会は村のチェック機関。 補正予算・一般質問・予算特別委員会で 地方創生について検証しました。

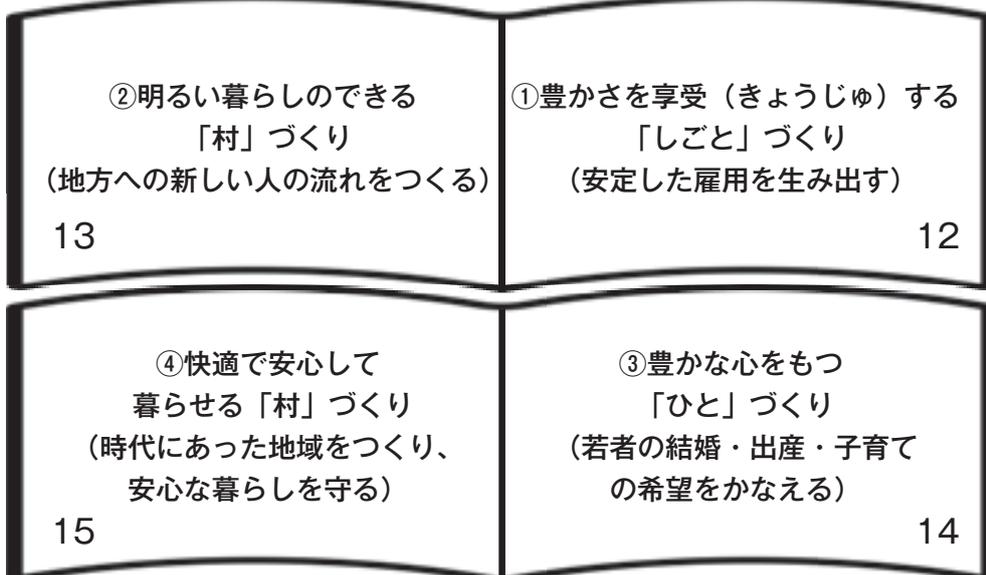
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定にあたり、新島村ではさまざまな分野からメンバーを集め、総合戦略策定委員会が結成されました。策定委員会は計画に活かす提言書の作成までが役割であり、計画の完成と実施については村役場を中心とした「新島村まち・ひと・しごと創生本部」が担当しています。そのため計画の最終段階と実施段階では議会の関与が少なく、通常の議会運営や検証委員会を通して、この地方創生の進捗（しんちよく）をチェックする必要があります。5年間の事業終了時だけでなく、年度ごと、各事業の区切りごとに検証を促すことは、地方創生計画を成功させるためには非常に大事なことです。村議会は村のチェック機関として、今、各事業がどう進んでいて、どうすればより良い結果を導き出せるのか、常に検証しています。



表：まちひとしごと創生における議会の関与

木村諭史議員
 Q：検証委員会の謝金を減額していますが、検証回数には？ 毎年ではないのですか？
 A：29年度は島アプリのみの検証としました。30年度より事業全体を検証できるよう変更します。
 大沼弘一議員
 Q：検証は全事業、毎年行うべきでは？
 A：まずはチェックシートで対応します。
 Q：30年度予算に検証委員会の予算がありません。
 A：計上漏れのため6月補正予算で計上します。

<新島村地方創生 4つの柱> () 内は国の方針



3月に開催された議会でも、各議員がさまざまな観点から質疑を行いました。今特集では、その中でも地方創生に係わると思われる質問を抜き出して、当村の計画における4つの柱ごとに紹介します。

地方創生① 豊かさを享受できる『しごと』づくり

新規就農者確保事業

新規就農者が自立して農業ができるまで、年間150万円、最大5年間を支援する事業です。

発言：山本均議員

Q：これまで支援していた新規就農者2名のうち1名が終了したことで、予算が減額されたと聞きました。終了した就農者は独立して事業ができたというのでしょうか？

A：産業観光課長 新規就農者2名の支援は最大5年間と期限が定まっておりますが、1名は（助成期間が）29年度で終了されました。

各種イベント事業

募集開始からすぐ定員になるトライアスロン事業をはじめ、商工費として各種の集客事業を計画しています。

発言：大沼弘一議員

Q：各種イベント事業への助成が増えているようですが、予定しているイベントを教えてください。

A：産業観光課長 1542万円の予算でトライアスロン、オープンウォーター、アクアスロン、式根島マラソン、JBB Aボディボード大会、JPSAサーフィン大会、新島サーフ&スケートフェスティバルの8イベントを助成予定です。式根島マラソンは30年度より村の助成となりました。またサーフ&スケートフェスティバルは29年に地域力向上事業交付金を利用して初めて実施されましたが、30年度からは村の事業として助成することになりました。

Q：最近サーフィンだけでなくスケートボードもあわせて大会を行っているということですが、大変期待している事業です。村として長い目で見ていただくことを期待します。

製氷貯氷冷凍冷蔵庫施設管理事業

水産物等の貯蔵業務、冷凍冷蔵庫の賃貸業務、漁業用飼料等の販売業務（冷凍冷蔵事業）等を行う事業。今年度は管理事業として、1200万円を計上しました。

発言：大沼弘一議員

Q：今後は村が実施していくということでしたが、年間2000万円ほどの経費に対して収入500万円。毎年1500万円を村が負担しているのですか？

A：産業観光課長 製氷冷蔵庫施設については今後改修を進めるため、30年度は設計委託料として1200万円を計上しております。初期投資がかかることは了承しております、工事終了後は漁協などに委託できればと考えております。

Q：委託料が1200万円となると歳出のほつが多くなります。この事業の今後の見込みは？

A：委託料は工事の設計委託料で、今後内容を揉んでいきますのでいずれ精査・圧縮していくと思います。

島内観光Wi-Fi整備事業

観光客が無料でインターネットを使用できるように、観光の要所13か所にWi-Fi設備を1119万円で整備。携帯の電波が届かなくても、観光客が島情報やスポット情報を取得したり、写真や動画で旅行体験を発信したりできるようになります。

発言：木村諭史議員

Q：島内Wi-Fi整備事業はフリースポットとしてインターネットが使えるだけなのか、登録した際に新島村の特産品などのPRが出てきたり、観光客の動向が調査できるような工夫があるのですか？

A：企画財政課長 30年度は13カ所の整備を予定しています。アクセス方法はいろいろですが、ネットにつながりアクセスする場合は役場ホームページに飛ぶ形になります。



地方創生② 明るい暮らしのできる『村』づくり

定住化体験住宅整備事業

村へのU-Jターン促進対策として、移住希望者を対象にした定住化体験住宅の設置を決定。29年7月より入居者を募集し、住宅に暮らしながら村での生活体験が可能になりました。

発言・大沼弘一議員

Q：定住化住宅は移住者が住むことができるのか、移住希望者が短期間だけ住む住宅なのでしょうか？

A：企画財政課長 移住を考える方に村を体験していただくための住宅として位置付けております。

Q：定住化住宅で体験した方が移住しよう、となれば村に人を増やすという地方総合戦略の一つとして非常に評価できます。ただ、体験後にいざ住みたいとなったら、定住希望者にどのような住宅を提供するのでしょうか。

A：企画財政課長 Uターン者用住宅を32年設計、33年建設として計上しています。

Q：建設計画はわかりましたが、それまでは体験者住宅に入っている方が移住したいと思っても住宅がないということになります。全てパッケージとしてやらなければ移住者希望者は行き場がなくなる。UターンやU

ターンに関する村長の考えは？

A：青沼邦和村長 確かに体験者住宅に住んで、新島は素晴らしいと感じた方が空き家バンクの住宅に住んでいた方が一番ですが、バンクへの登録が進まないため、体験はできるけれど住むところがないのが現状です。ただ、ホームの職員住宅が建設されましたので、職員のためにピックアップしていた空き家を移住者に貸してもらえるかどうか、現在情報を集めているところです。



婚活事業

結婚に至る出会いや気運を創出するため実施。5年目となった29年度は従来型の婚活とは異なり、男女がより自然な形で出会い交流できるよう企画とPR方針を変更しました。新島・式根島別で計4回開催し、参加者は男性でのべ27人、女性29人と、例年の2倍近い人数となりました。両島とも、実際に発展したカップルが出るなど成果が出ています。30年度は委託先と実施報告を含めて協議の上、実施時期や内容を検討していく予定です。

発言・大沼弘一議員

Q：婚活事業補助金についてですが、実施主体はどこでしょうか。また29年度はこれまでと違った形で実施したと聞きましたが、30年度はどのように実施されるのでしょうか。

A：企画財政課長 人口ビジョンにおける村民アンケートによると、晩婚化・未婚化の要因として挙げられるのが「適当な相手にめぐりあう機会がない」が55.9%で最も多くなっています（8ページに資料あり）。一方で、従来型の婚活では参加者が集まらないとも聞いております。

28年度まで実施していた婚活事業の改善点として、参加者が集まった上で予算化するなど、今までにない形を構築することが必要であるとい

う報告を受け、29年度は商工会を主として実行委員会を組織し、参加男性がスタッフとなって「みんなで作る島婚」として実施されました。その結果、前年度より参加者が男性、女性ともに増えているようで、何組かは交際に発展したと聞いております。

Q：婚活については人が集まらないなど事情があるとは思いますが、地方創生の一環としてもっと積極的に実施してもいいのではないかと思えます。（事業内容については補正予算審議で別質問あり）



地方創生③ 豊かな心をもつ『ひと』づくり

医療費助成

平成28年度より、都立新島高校に在籍している生徒に係わった医療費（保険診療分）の自己負担分について、全額助成を実施しています。

発言：山本均議員

Q：高校生医療費助成事業ですが、これは新島高校の学生だけが対象で島外の高校に通う人は除外というのは、親の経済的負担を軽減するという事業の趣旨に反するのではないのでしょうか。島に親が住んでいるのですから、内外問わず対象にすべきでは？

A：民生課長 課内で検討は重ねておりますが、実際にどのくらいの医療費がかかるのかなど、3年間の結果を見ながら再度検討したいと思っています。



発言：大沼弘一議員

Q：心身障害等の福祉についてですが、村ではいわゆる愛の手帳所持者および特定疾患保持者に対しては、介助者を含めて医療費、交通費、宿泊代の助成しています。ただ該当にならない多くの方が通院している状況です。出産助成と同様に補助できないでしょうか。

A：青沼和村長 現在、飛行機の補助に動いていまして、30年度に実現できそうな方向が見えてきましたので、その後は医療費に全力で取り組んでいきたいと考えています。

Q：課での検討の状況をお知らせください。

A：民生課長 医療費の助成は全ての方を対象にするのは難しく、どっという疾病に必要なのか、何回渡航する人を対象にするのか、所得制限を設けるのかなど課内で検討しているところです。診療所の先生や財政課も含めて話し合い、実施に向けて動きたいと思っています。

保母等職員人件費

主に3歳児から5歳児を中心に受け入れていますが、未満児保育も実施しています。本土では保育園に入園できない問題があります。新島村では希望者はほぼ入園できる状態です。

発言：木村諭史議員

Q：最近、未満児・延長・土曜保育も含め対応を広げていると思います。また、夫婦共働きの公務員の方が子供を預けていたり、保育士が我が子を預けながら同じ園内で勤務する状況も見受けられます。利用者の需要の推移と保育園の人的対応力は？

A：民生課長 保育園では現在、未満児も受け入れをしています。また保育士は1名育児の方が4月から復帰したので保育士は充足し、保育士が子供を園に預けながら働く状況は解消できるかと思えます。ただ1、2歳児については保育を手厚くしなければなりませんので、家で見ただけの方は見ていただくという形をとっております。

発言：青沼喜六議員

Q：今は多くの世帯が共働きですが、1歳児、2歳児を預けられなければ仕事もできません。もっと保育を手厚くすべきでは？申請があつて初めて入園を検討するのはなく、最初から受け入れできる環境を用意すべき。働いていない人でも、預けられれば可能性は広がります。働いている人も子供を預けられるならもう一人産もうかな、と考えるかもしれない。少子化に歯止めをかけるために、もっと園口を広げていただきたい。

A：民生課長 保育園は基本的に保育に欠けているかどうかで預かりしている状況です。ただ1歳児、2歳児の受け入れについては保育士なども考えて今後検討したいと思っています。

放課後子ども教室事業

国は、放課後における児童の安全・安心な居場所づくりと、多様な体験・活動を子どもたちに提供できるように、学童クラブ（原則年間250日以上など規制多い）と放課後子ども教室（日数・設備・職員など規制少ない）の支援制度を用意。村ではNPOに『まむら』子どもくらぶに委託し、『あそび』を通じた心と体の育成と居場所づくりのため、本村地区で週1回試験的に実施しています。

発言：大沼弘一議員

Q：参加した児童から非常に好評と聞いていますが、どのような実施状況と趣旨でしょうか？日数を広げていく考えがあるのでしょうか？

A：教育長 学童保育（学童クラブ）は専門職の配置や日数の制限があるため、放課後子ども教室として実施しています。教育委員会としては子どもの居場所、遊び・学びの場所として継続していきたいと考えています。日数も少しずつ拡大できるように、委託先と話し合っていきたいと思っています。

地方創生④ 快適で安心して暮らせる『村』づくり

式根島福祉拠点整備事業

式根島で在宅支援サービス・相談・活動を総合的に利用できる効率的な施設を創設。居宅サービスと施設サービスを連携させることで、高齢者の在宅支援機能を充実させ、緊急時にも安心できる拠点として機能します。現在は用地取得済みで、30年度に造成工事および基本・実施設計を予定しています。

発言：山本均議員

Q：デイサービスを中心とした事業と聞いておりますが、現在のサービス状況と、新設される施設規模や内容、他の事業を行うのか、人材の採用予定も教えてください。

A：民生課長 現在は憩いの家にてデイサービス事業を行っています。それを式根島診療所の隣に施設整備することで、デイサービスはもろろん緊急時の宿泊施設や地域交流の場といった役割を担う地域の福祉拠点として整備予定です。採用はどの程度の人数必要なのかは30年度に協議予定ですが、島外在住者2名が島に戻ってきたいと伺っており、島内のケアマネージャー有資格者に協力してもらいながら運営していきたいと考えております。

Q：設計に関しては住民の意見を聞いたと聞いておりますが、今後も意見を反映しながら設計を進めていくのか。

A：数年前から式根島で協議会を立ち上げたり、島のいろんな方と相談しながら進めています。できるだけ島の方々の意見を取り入れながら進めていきたいと思います。

多世代交流事業

年齢や障がいの有無にかかわらず、居場所と交流機会を作るため、NPOにいま村『こどもくらぶ』に委託。ポッチャやゲーム、島素材の工作体験などを行っています。29年度は本村・若郷・式根島の3地区で計4回開催し、若郷会館では参加者が80人を超えるなど、事業が住民に浸透してきたことがうかがえます。

発言：大沼弘一議員

Q：昨年に比べて予算が減っているようですが、活動実績に沿った削減でしょうか？

A：民生課長 29年度は年8回の実施を予定しておりましたが、諸事情で4回の実施となり、補正予算で減額いたしました。30年度も8回実施予定ではありますが、現時点で金額は確定しておりません。

Q：8回の予定が4回に減ったのはスタッフのマンパワー不足などが要因でしょうか？ 大変すばらしい事業だと思えますので、もっと予算をつけるなどして先細りしないよう配慮をお願いしたいです。

A：民生課長 土日に実施している事業ですが、村の障害者向け説明会など他の行事と日程が重なったり、スタッフの都合などで回数が減っております。今後はなるべく計画通り実施できるよう努力してまいります。

管内視察や個別の委員会で議員もチェックしています！

若郷地区避難整備事業

平成25年に公表された南海トラフ巨大地震等による被害想定と、29年度に土砂災害警戒区域が新たに指定されたことを受けて、高台の霞山地区に新たな避難施設の建設を計画。用地は28年度に面積2596㎡の敷地を取得し、30年度に基本設計、31年度に実施設計、32年度に建設を予定しています。また30年中には敷地の伐根・伐採を行い、一時避難場所として使用できるように整地予定です。

議員一同、3月7日管内視察において現場を確認しました。議員の中から、災害時以外の使い道も検討したいといった意見も出ています。



新エネルギー（電力）系統出力変動対応技術研究開発事業

政府は2030年までに再生可能エネルギー（太陽光や風力や波力発電など）の利用率を22～24%まで引き上げることを目的としています。新島でも同水準を達成できる1100kWの太陽光と風力発電を設置し、それを既存の火力発電所の電力系統と連結する実証試験を行っています。

議会では地方創生の観点から極めて重要な事業として、経済常任委員会で継続して審議し、風力発電の工場も視察してきました。引き続き事業の進捗（しんちよく）を確認しながら、30年4月の実証試験終了後に設備を譲渡され、村で事業を実施していくかどうかの是非を判断するため、第三者機関からの報告書提出を待っている段階です。

● ● 議長 の 四 季 報 ● ●

- 1 月 3 日 成人式に出席
- 6 日 式根島消防団及び新島消防団の消防出初式に出席
- 7 日 新島警察署武道始式に出席
- 1 1 日 賀詞交換並びに表敬に都庁を訪問
- 2 9 日 東京都市町村公務災害補償等組合役員会に出席
- 2 月 6 日 全国町村議長会総会に出席
- 1 5 日 東京都町村議長会総会に出席
- 1 6 日 東京都島嶼議長会・島嶼町村一部事務組合会議に出席
- 2 8 日 議会運営委員会
- 3 月 3 日 都立新島高等学校卒業式に出席
- 6 日 平成 3 0 年新島村議会第 1 回定例会開催（2 6 日まで）
- 1 6 日 中学校卒業式に出席
- 2 2 日 小学校卒業式に出席

編集 後 記

まず前号（第83号）の記事の一部に事実と異なる事項がありましたのでお詫びして訂正いたします。「公共施設再見」の13ページ、15行目「……屋外に囲炉裏を設けて……」の件。すでにこのような設備は施設正面、玄関横にありました。関係者のみなさまには深くお詫びいたします。

なおこれによって記事の趣旨が変わることはありませんのでご了承願います。またこの記事に掲載されている写真は平成29年3月に撮影されたものです。

作家の松井今朝子の師である武智鉄二との交流を描いた「師父の遺言」、興味深く読み終えた。芸術に関係する人たちの生懸命というか仕事に対する姿勢には妥協を許さないものがあり、感心した。

それはともかくとしてこの本の中で私たちにも通じるな、と思ったことを一言。作者が学業に見切りをつけて社会人として踏み出した頃のこと。興業会社の松竹に入りプロデューサーの経験もある上司と各劇場を見て回っていた。歌舞伎は古典

と新作を演目としている。限られたけいこ時間で、古典だけで観客は十分満足しているのにとどいて不人気な新作もやるのか上司に質した。すると「新作をやらないうで誰かに習った芝居ばかりやっていると自分で考えて工夫することをしなくなる。そうなたら役者はおしまいだ」

なるほど確かにこれは芝居だけでなく私たちの仕事にも通じる。特に本紙の場合、読まれようが読まれまいが私たちの腹は痛まない。このことに無自覚でいると、単に形だけのものになってしまい、いずれ住民からはそっぽを向かれてしまう。

やはり常に自分自身と向き合い、これでいいのか、住民は関心を持ってくれるのか、新しい切り口はないのか、自問自答しながらもちろん他人の意見も聞いてよりよくしていかなければならない。ややもすると時間に追われて柁目を埋めることで満足してしまいがちだが、改めて心して掛かることを教えられた次第。

● 広報編集委員長 山本 均